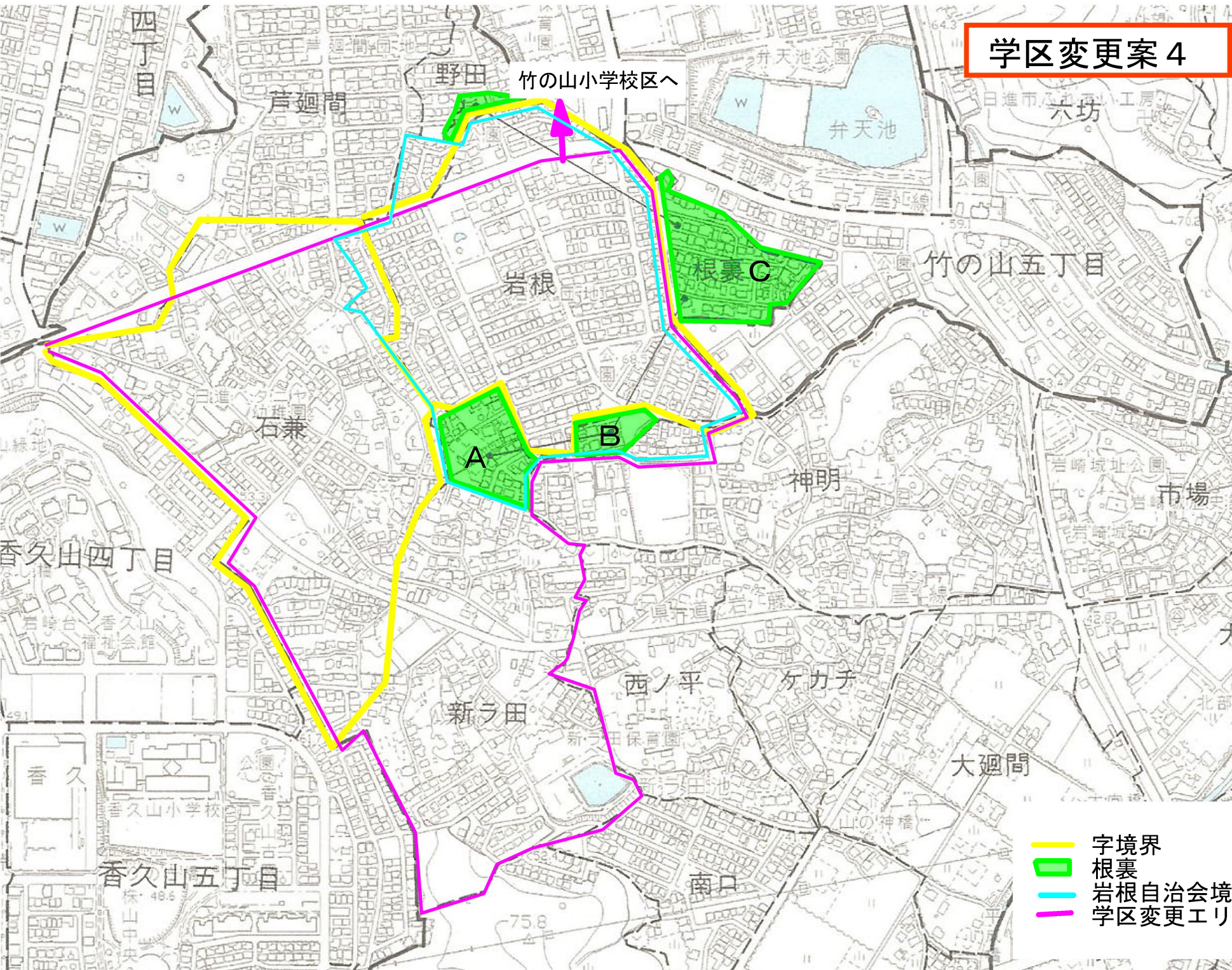


学区变更案4



学区変更案４の考え方

- ・「学区変更案３」に新ラ田を加えた。

メリット

- ・学区変更の要望が多い新ラ田地区を対象とした。

デメリット

- ・変更対象となる地区の児童生徒数が多くなり、学校運営に与える影響が大きくなる。
変更対象となる地区の児童生徒数は
小学校：270 名程度
中学校：140 名程度
- ・日進北中学校の利用可能教室数の上限を超えてしまう。

☆通学の安全を考慮して、石兼及び新ラ田の市道岩崎香久山線以南の地区について、香久山小学校区及び日進西中学校区への変更を検討したが、小学校の適正規模及び利用可能教室数に問題はないものの、

- ・日進西中学校区について、2つの区画整理地（赤池箕ノ手、香久山西部）が含まれ、ミニ開発等も多く、将来的に児童生徒数の増加が見込まれる地域であり、適正規模の観点から更に生徒数を増やすべきではない。
- ・中学校への通学距離が長くなる。
- ・岩崎区は、元々北小学校区及び竹の山小学校区が含まれているが、香久山区とコミュニティー上の関りが薄い。

以上のことから、当該学区への変更は適切ではないと判断した。